

博士前期課程（修士） / 共通科目 / 共通科目

科目コード：200005

ケアと哲学 Care and Philosophy

担当教員	浅見 洋 吉田 和枝 高山 成子 牧野 智恵 西村 真実子				
実務経験					
開講年次	1年次後期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	30		
Keywords	臨床哲学 医療倫理 看護倫理 医療者・患者関係 ケアの倫理学 インフォームド・コンセント 医療資源の配分 リスクマネジメント				
学習目的・目標	ケアの哲学、臨床倫理の原則を踏まえて倫理的な問題解決する方法を教授する。特に患者の権利等を理解した上で、健康と病について看護の視点より評価し、倫理的葛藤の存在を認識できる能力を養う。				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1	医療と関わる倫理（臨床哲学）の歴史			講義	浅見
2	医療倫理・看護倫理問題の合理的な考え方			講義	浅見
3	医療倫理・看護倫理の原則と重要概念			講義	浅見
4	看護者と患者関係の倫理			講義	浅見
5	看護ケアの倫理学と事例検討 1			講義と事例検討	浅見・吉田
6	看護における守秘義務・個人情報保護と事例検討 2			講義と事例検討	浅見・吉田
7	看護におけるインフォームド・コンセントと事例検討 3			講義と事例検討	浅見・吉田
8	看護におけるリスクマネジメントの倫理と事例検討 4			講義と事例検討	浅見・吉田
9	生殖医療における倫理問題（体外受精、不妊治療、胎児診断）			講義と事例検討	吉田
10	老年看護実践における倫理問題（エイジズム、成年後見制度）			講義と事例検討	高山
11	がん看護実践における倫理問題（がん治療・看護における意思決定）			講義と事例検討	牧野
12	小児看護実践における倫理的問題（小児治療における親の意志決定、虐待）			講義と事例検討	西村
13	終末期医療における倫理問題（リビングウィル、事前指定）			講義と事例検討	浅見
14	看護の臨床研究における倫理			講義	浅見
15	総括と討議 *学生の報告事例によって倫理問題の具体的なテーマは変化する。			講義と討議	浅見・吉田
教科書	プリント配布 事例検討においては主に学生の報告をテキストとする。				
参考図書等	Sata T. Fry, Robert M.Veatch, Case Studies in Nursing & Ethics. その他：随時紹介				
評価指標	レポートに、受講時の発表、討議について加味して評価する。				
関連科目	コンサルテーション論 看護管理特論 看護デザイン特論Ⅱ 看護デザイン演習ⅠA 看護デザイン演習ⅠB				
教員から学生へのメッセージ	受講学生と話し合いながら、シラバスの内容を変更する場合があります。				